



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1338 2023 年 1 月 10 日



新年のごあいさつ

一般社団法人電波産業会
会長 漆 間 啓

あけましておめでとうございます。年頭にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

会員の皆様及び総務省をはじめとする関係の方々には、平素より当会の事業に対し格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染は、収まりつつあると思われたところで再び拡大するなど予断を許さぬ状況にありますが、昨年は一昨年までと比べ「ウィズコロナ」への対応が進みました。情報通信を活用してオンラインとリアルとを組合せた新たな働き方など、業務のデジタルトランスフォーメーション（DX）が進みつつあります。

当会も協力団体として出展したCEATEC 2022が3年ぶりとなるリアル開催とオンライン会場を併せたハイブリッド開催となったことをはじめ、世の中の色々なイベントが再開されました。当会が参加する会合等においても同様に久々の対面開催となるものがありました。今年の当会の諸活動についても状況を判断して対策を実施しつつ進めてまいります。

さて、今年は政府の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」がスタートします。地方におけるDXの推進をはじめ、構想の実現には光ファイバや第5世代移動通信システム（5G）などの通信インフラの整備が不可欠であり、社会実装に向けた取組が今後より一層重要になってまいります。

次世代のインフラであるBeyond 5G/6Gについても、社会実装を見据えた研究開発の加速と国際標準化の推進が求められるところです。昨年、Beyond 5G推進コンソーシアムにおいて業界毎の利用シナリオや技術的要件などを取りまとめたホワイトペーパーが公表されましたが、この6月にはITU-Rにおいてビジョンやユースケース等をまとめる新勧告案が完成する見通しであり、将来の実用に向けた技術標準策定の加速が期待されます。

また、この1月には、尾上誠蔵氏が国際電気通信連合（ITU）電気通信標準化局長に日本人として初めて就任されます。世界的に経済安全保障への注目も高まる中、健全な競争と世界の諸課題解決に向け、先見の明かつ開かれた国際標準の策定を牽引いただけるものと確信しております。

ます。あわせて国際標準化活動における日本の一層の貢献と存在感の高揚を期待いたします。

更に、今年のG7開催国は日本であり、4月末に開催される「G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合」において、日本がグローバルなルールづくりの議論をリードすることを期待いたします。

5Gについては、当会においても第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）での調査・推進活動などを継続してまいります。また、ダイナミック周波数共用業務のための設備・体制の構築を完了し、総務省による2.3GHz帯の開設計画の認定を受け、認定携帯電話事業者の2023年度下半期の電波発射に向けた諸準備を進めてまいります。Beyond 5G/6Gについては、Beyond 5G推進コンソーシアム、Beyond 5G新経営戦略センター等との協力・連携による研究開発、標準化に引き続き取り組みます。

当会では本年も事業活動として、電波利用に関する調査・研究・開発、標準規格の策定、コンサルティング、普及啓発、国際連携等に取り組み、社会課題の解決と豊かな社会の実現に貢献できるよう鋭意努力してまいります。引き続き関係の方々の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後となりましたが、会員の皆様方のますますのご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

令和5年元旦

ARIB からのお知らせ

標準規格等の英語翻訳版電子ファイルの公開について

新たに 5 件の英語翻訳版を公開しました。

【通信分野】

規格番号等		標準規格名等
STD-21	3.0 版	特定小電力無線局医療用テレメーター用無線設備 標準規格
		Medical Telemeter Radio Equipment for Specified Low Power Radio Station ARIB Standard
STD-30	2.2 版	小電力セキュリティシステムの無線局の無線設備 標準規格
		Security Radio Equipment for Low Power Radio Station ARIB Standard
STD-T121	1.0 版	400MHz 帯デジタル船上通信設備（チャンネル間隔 6.25kHz/4 値 FSK 方式） 標準規格
		400MHz-Band Digital On-board Vessel Communications Equipment ARIB Standard

【放送分野】

規格番号等		標準規格名等
STD-B21	5.12 版	デジタル放送用受信装置（望ましい仕様） 標準規格
		Receiver for Digital Broadcasting（Desirable Specifications） ARIB Standard
STD-B63	1.10 版	高度広帯域衛星デジタル放送用受信装置（望ましい仕様） 標準規格
		Receiver for Advanced Wide Band Digital Satellite Broadcasting（Desirable Specifications） ARIB Standard

※「英語翻訳版」は、標準規格又は技術資料の正本から英語に翻訳されたものです。正本と翻訳版との間に内容、表現等で何らかの相違点があった場合は、正本を優先します。

ARIB の動き

2022 年度 VSC セミナーを開催

ARIB が事務局を務める ITS 情報通信システム推進会議（以下 ITSF）は、2022 年 12 月 22 日に国際対応専門委員会主催による「2022 年度 Vehicle Safety Communications（VSC）セミナー」～VSC 関連国際会議結果と推進会議活動報告～を明治記念館で開催しました。

- 1 名 称：「2022 年度 Vehicle Safety Communications（VSC）セミナー」
～VSC 関連国際会議結果と推進会議活動報告～
- 2 日 時：2022 年 12 月 22 日（木）14 時～17 時 40 分
- 3 場 所：明治記念館
- 4 主 催：ITS 情報通信システム推進会議 国際対応専門委員会
- 5 参加者数：約 70 名

開催にあたり、総務省総合通信基盤局電波部移動通信課 新世代移動通信システム推進室長の増子喬紀氏より、日本では道路交通社会を支える基盤として ITS が浸透しており、世界でも有数の ITS 先進国となっていること、5.9GHz 帯 V2X や 76GHz 帯ミリ波レーダー、国際標準化活動、ITS 無線システムの海外展開などの総務省における取り組みをご紹介いただいた後、ITS のさらなる発展と安全で円滑な道路交通社会の実現に向けて、情報通信行政を担う立場から施策を推進するために、ITSF 会員の皆様のご協力をお願いしたいとのご挨拶をいただきました。

セミナーは ITSF 国際対応専門委員会 専門委員長の山本武志氏の司会進行で開催されました。3 種類の報告から構成され、報告 1 として、ITS 無線システムを取り巻く世界動向について 3 件の発表がありました。

- (1) 「ITS 世界会議 2022 ロサンゼルス報告」と題して、総務省新世代移动通信システム推進室 国際係長の東良樹氏より ITS 世界会議の概要と日本からの参加状況などをご紹介いただいた後、東氏が講演された総務省主催セッション SIS75 での世界各地域での ITS/自動運转向け通信に関する議論について、ご報告いただきました。
- (2) 「ISO TC204 での ITS 通信に関する標準化について」と題して、ITS 標準化委員会 ISO TC204/WG16 通信分科会分科会長 星佳典氏より ISO TC204 や RC22 での ITS/コネクテッドモビリティにおける通信に関する国際標準化活動の状況についてご報告いただきました。
- (3) 「ITU-R における ITS/自動運転関連の国際標準化動向」と題して、ITSF 国際対応専門委員会 国際標準化推進 TG 主査の横山隆裕氏から、ITU-R WP5A での協調型自動運転を対象とした研究課題の検討状況や、WRC での議題提案に向けたタイムラインなどが報告されました。

報告 2 では、自動運転・安全運転支援に関する国内外の取り組み状況について 3 件の発表がありました。

- (1) 「Level 4 Mobility Service の実用化に向けた国内外の動向」と題して、ITS Japan 理事の白土良太氏より、RoAD to the L4 プロジェクトや国内の実証実験例、米国での技術開発やインフラ改善に向けた資金投入や自動運転に関する許認可状況、および自動運転バス実用化に向けた実証実験動向、欧州での CCAM 実現推進に向けた計画や Horizon Europe や Hi-Drive、SHOW などのプロジェクト動向などをご報告いただきました。
- (2) 「Collision Warning System for Saving Youth Lives」と題して、Institute for Information Industry (台湾) Software Technology Institute 副院長の Henry Meng 氏より、台湾におけるオートバイ衝突警告システムや AI 画像認識による衝突検知などの取り組みの概要・システム構成や成果、連携への期待などをご紹介いただきました。
- (3) 「SIP 第 2 期東京臨海部実証実験の概要報告」と題して、SIP 第 2 期東京臨海部実証実験コンソーシアム開発責任者の津田喜秋氏より、2022 年度に実施している V2N を利用した降雨情報、車線別道路交通情報、模擬緊急走行車両情報及び信号予定情報等の情報配信の実証実験内容や評価・課題整理についてご紹介いただきました。

報告 3 では、ITSF における次世代無線通信方式の検討状況について 2 件の報告がありました。

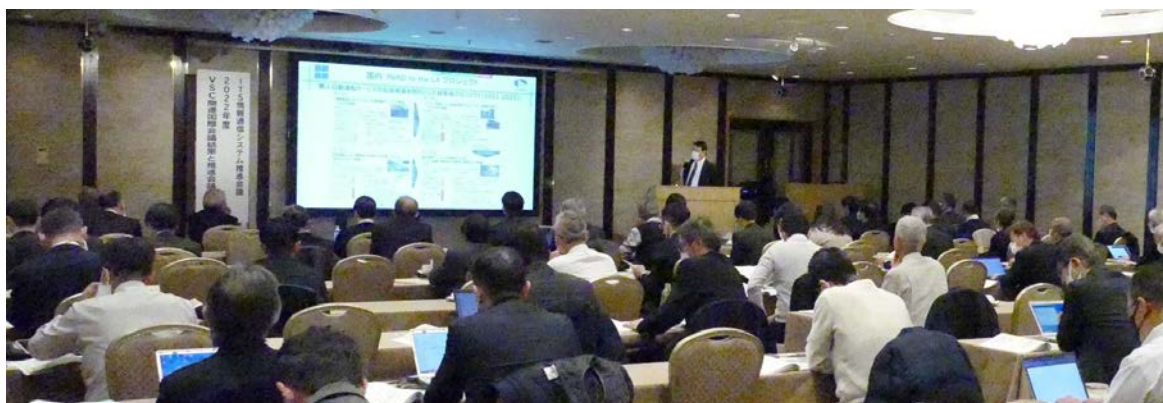
- (1) 「自動運転無線通信方式に関する検討 -SIP ユースケース対応の進捗状況-」と題して ITSF 高度化専門委員会 無線方式検討 TG 主査の浜口雅春氏より、2020 年度から 2 カ年度にわたる SIP 協調型自動運転通信方式検討 TF と連携した自動運转向け通信要件などの検討活動やその成果となるガイドライン (ITS FORUM RC-017) の紹介や、今年度の SIP と連携した活動の概要について報告されました。
- (2) 「スマートポール活用も想定した、自転車・歩行者事故防止支援および自動運転支援、両実験ガイドライン」と題して ITSF 700MHz 帯 ITS 実用化専門委員会 委員長の土居

義晴氏より、700MHz 帯路車協調技術を利用した自動運転向けユースケースの実証実験や、自転車/歩行者の交通事故削減に向けた実証実験に向けたガイドライン（ITS FORUM RC-016 および 018）について報告されました。

閉会挨拶では、ITSF 企画部会 部会長の小花貞夫氏から、セミナー参加と ITSF の活動に対する理解と支援に対する御礼とともに、自転車や歩行者など車以外のモビリティも含めトータルで安全で快適な移動・モビリティの実現に向けた調査、研究、標準化の取り組みや、国内外の様々な団体・組織と連携を深めて情報交換をしながら、必要となる情報通信機能がどうあるべきかを考えていきたいとのご講評をいただきました。

当日は ITS 関連省庁・団体、会員企業から約 70 名にご参加いただき盛況のうちに終了しました。

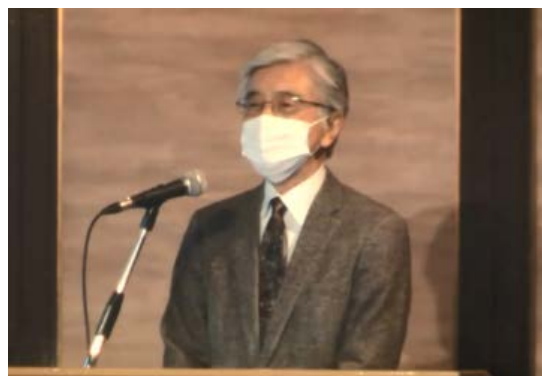
なお、講演予稿集は、ITSF のホームページで公開しています（ITSF 会員向け）。



会場の模様



総務省 増子氏



ITSF 小花氏

第 314 回技術委員会（通信・放送合同）を開催

第 314 回技術委員会（通信・放送合同）を開催しました。

1 日 時： 2022 年 12 月 21 日（水）15 時 30 分～16 時 10 分

2 場 所： 当会第 2、3 会議室（Web 会議併用）

3 議 題：

- (1) ITU-R WP5A 第 28 回会合における ITS 関係の概要報告について
- (2) ITU-R SG5 第 19 回会合及び Inter regional WS for WRC-23 の概要報告について
- (3) Inter BEE 2022 における ARIB/DiBEG ブース出展について
- (4) 電波産業年鑑 2022 の発行について
- (5) 第 34 回電波功績賞候補者の推薦依頼について
- (6) その他
 - ・ 令和 5 年度税制改正要望書の提出及び結果について

ARIB 内会合（1 月 10 日～1 月 13 日）予定

- | | |
|--|----------|
| 1 月 11 日（水）：デジタル放送システム開発部会 多重化作業班 | Web 会議 |
| 1 月 11 日（水）：デジタル放送システム開発部会 映像符号化方式作業版 | Web 会議併用 |
| 1 月 11 日（水）：スタジオ設備開発部会 機器間インタフェース作業班 | Web 会議 |
| 1 月 11 日（水）：標準化部会 WP5D 対応 WG | Web 会議 |
| 1 月 12 日（木）：デジタル放送システム開発部会 高度化放送導入方式検討 TG | Web 会議 |
| 1 月 12 日（木）：oneM2M ARIB/TTC 合同会合 第 59 回会合 | Web 会議 |
| 1 月 13 日（金）：デジタル放送システム開発部会 地上デジタル放送伝送路符号化作業班 | Web 会議 |
| 1 月 13 日（金）：高度無線通信研究委員会 標準化部会 | Web 会議 |

国際会合（1 月 10 日～1 月 13 日）予定

参加を予定している会合はありません。

**戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）の
令和 5 年度研究開発課題の公募**

【令和 4 年 12 月 23 日発表】

総務省では、情報通信技術分野の競争的研究費である「戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）」において、令和 5 年度から新規に実施する研究開発課題を公募しています。

詳細については [【令和 4 年 12 月 23 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**電波法施行規則及び無線局免許手続規則の一部を改正する
省令案等に対する意見募集**

【令和 4 年 12 月 27 日発表】

総務省は、「携帯電話用周波数の再割当てに係る円滑な移行に関するタスクフォース 報告書」において示された事項に関して、「電波法施行規則及び無線局免許手続規則の一部を改正する省令案」及び「電波法関係審査基準の一部を改正する訓令案」を作成しました。

当該省令案等について、令和 4 年 12 月 28 日（水）から令和 5 年 1 月 31 日（火）までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【令和 4 年 12 月 27 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp